

第12号  
2024.2.29

# ぬくもり

写真提供: ヤマメ床店主 依田啓史氏

## 機関紙「ぬくもり」発刊によせて



公益社団法人山梨県看護協会峡南地区支部長 白坂理恵

峡南地区支部の皆様には、日頃より地区支部活動へのご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は5類へ移行し、地区支部の活動もコロナ禍以前のように活動が行えるようになってきました。今年度の定期総会は新旧役員のみでの開催でしたが、トピックス研修や市民公開講座は無事に開催することができました。トピックス研修では、感染症対策として講演していただき感染症対策について再度確認する機会を得ることができました。市民公開講座では、「在宅での看取り」について講演いただき住民の方々と「在宅での看取り」について考えることができました。このように、参集での研修会が開催することができたのも会員の皆様の協力があったことだと思います。

また、1日看護師体験や1日町の保健室・出前授業なども実施することができ地区支部の活動が活性化されてきていることをとても嬉しく思います。

峡南地区支部は、会員数や施設は少ないですがそれを強みと捉え様々な研修会を通じて会員の皆様と顔の見える関係を築き有益な地区支部活動が行えるよう工夫し、会員の皆様の持つ看護の力が発揮できるよう役員一同努力して参ります。今後も地区支部活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。



## 山梨県看護協会峡南地区支部機関紙 「ぬくもり」発刊に寄せて



公益社団法人山梨県看護協会

会長 佐藤悦子

峡南地区支部の皆様、日頃より看護協会活動推進へのご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症に加えてインフルエンザも流行しており、その対応に日々奮闘し続けてくださっています看護職の皆さまに、心から深く感謝申し上げます。

国は今年10月に「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改定を告示しました。激動する社会の情勢を踏まえ、この改定はなんと30年ぶりのことです。この指針には、看護師等の勤務環境や処遇の改善、就業者の確保推進、資質の向上支援などが示されております。どのような改定になったのか、ホームページから内容を見ることができますので、ぜひ一度ご確認ください。

未曾有の感染症を体験してきた今だからこそ、社会からは看護職の役割発揮がますます強く求められております。看護職がこの期待にしっかりと応えられ、生き生きと働き続けられる労働環境づくりや専門的資質を高める取り組み等、看護協会は看護専門職能団体として将来をしっかりと見据えながら取り組んでいくことが重要だと考えます。

峡南地区の会員は令和5年11月5日時点で272名、昨年度の最終会員数は283名でした。一丸となって取り組んでいくために、一人でも多くの仲間を増やしたいと思います。看護職の声を協会活動に反映させ、協会員になることのメリットを看護職の皆さまに伝えていけたらと思っております。

協会活動に対する皆様の声は、地区支部長白坂理恵様、地区理事志村記子様を通し、ぜひお届けください。「みんなで創る協会」を根幹に据え取り組んでまいります。皆さまのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 看護功労者受賞者



### 看護功労賞を受賞して

南部町役場 佐野千代子

毎月愛育だよりを手書きで印刷し分班長さんに配布、寝たきりの方へ清拭や洗髪のために家庭訪問をした新人時代から、介護保険制度、特定健診・保健指導の実施、新型コロナウイルス感染症など大きな時代の流れや情勢の変化に求められる保健師活動を子育てと共に慌ただしくこなしてきたように思います。先輩保健師の皆さんや同僚、専門職の方々など多職種の方々のつながり、支援や指導、協力をいただき今日が迎えられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

「ありがとう」の言葉に励まされ、いろいろな場面でお会いした赤ちゃんや子どもからは元気をもらい、地域のたくさんの方から生活の知恵や考え方、支援の在り方など学ばせていただいたことは、私の財産だと思っています。今までいただいた財産を糧に地域に出向き、つながる地域の保健師として頑張っていきたいと思っています。

# 新人保健師・看護師紹介 (4名)



富士川町役場  
保健師

内山歩果

人が温かく繋がりが深いと感じた富士川町で保健師として働いています。先輩保健師からご指導いただく中で、「保健師ってすごい。私も早くあんな風になりたい。」とやりがいを感じる毎日です。また悩んだり落ち込むことも多いですが、先輩保健師が解決のための助言をくれたり、優しい言葉をかけてくれたりと支えていただいております。環境にも恵まれています。住民の方が地域で健康に過ごしていけるように、励んでいきたいと思っております。



峡南医療センター企業団  
富士川病院

今村勇輝

私の母は私が幼い頃から看護師をしており、よく母の病院に連れて行ってもらっていました。そこで母の働く姿をよく目にしていました。まだ幼かった私は、看護師として必死に働く母の姿に憧れを抱きました。そして私も看護師として4月から富士川病院で働いています。まだまだわからないことだらけで技術も経験も足りませんが、地道にコツコツ自分なりの看護を見つけられるように日々努めていきます。



峡南医療センター企業団  
富士川病院

加賀美 泰 政

私は祖母の入院時に、親身に看護を行っている看護師の姿を見て、自分も何かをしてあげられる人になりたいと思い看護師を目指しました。今では看護師として富士川病院に就職し、先輩たちの指導を受けながら日々経験を積んでいます。毎日大変なことや辛いこともあります。これから患者さんの個性にあった看護を提供できるよう勉強に励み、技術の向上に努めていきたいと思っております。



峡南医療センター企業団  
富士川病院

酒井 茜

私は介護福祉士として看取りの経験をしてから、その人らしい最後を迎えるために何ができるだろうと考え、医療の知識を持って利用者さんや家族に寄り添いたいと思い、看護師を目指しました。現在、富士川病院で看護師として先輩方から指導を受けながら学ばせてもらっています。住み慣れた地域で生活を続けていくお手伝いができるよう、知識と技術の向上に努めていきたいと思っております。



## 各病院の取り組み

### いきいきと働き続けるために今を大切に

峡南医療センター企業団市川三郷病院 外来 米山純子

看護師は夜間や休日と不規則な勤務で働く職業です。良い看護を提供するには、自分が心身ともに疲弊してはできません。長く働き続けるためには、その時々で無理のない勤務形態で働くことが大切だと思います。

私が働く市川三郷病院の母体である峡南医療センターではワークライフバランスに取り組んでおり、職員がいきいきと働き続けられる職場づくりを目指しています。私自身も小学生の子を持つ母親です。他にも子育て世代の看護師も多く、学校行事や急な体調不良と休みが多くなりがちですが、勤務形態（育児休暇や時短勤務）や介護休暇等を調整しながら働いています。また、子育てと仕事の両立を経験したスタッフにも支えられ働くことができます。これからも皆で支えあい協力しながら、いきいきと良い看護（安心・笑顔）を届けていこうと思います。



### 患者様が安心して安全な環境で手術を受けていただくために

峡南医療センター企業団富士川病院 手術室 長澤圭子

当院手術室では主に外科（消化器外科、乳腺外科、一般外科）、整形外科（外傷、骨折、脊椎疾患、手外科疾患、関節外科）の手術を年間800件前後実施しています。スタッフは外科系医師8名、看護師11名、洗浄・滅菌・術間清掃者5名、医療材料管理者3名で中材・手術室業務を行っております。

数年前より委託業者の導入により看護師が患者様にかかわる時間が増えました。術前術後訪問に伺えるようになったことから患者様により添った看護の提供に取り組んでいます。またワークシヨップや部署内勉強会、KJ法などを用いて自分達の看護の振り返りなどをおこない「患者様が早期に不安なく安心して手術を受けていただける」ことを心がけ業務に努めております。



### 日常が一日も早く戻りますように

医療法人財団交道会しもべ病院 総看護師長 望月栄子

当院は病床数94床の療養型病院です。患者様の8割以上が80歳以上の高齢者です。3年前からコロナ禍で面会が中止となり、患者様はもちろんのことご家族の心配と高齢であるがゆえに、会えない不安は計り知れない事と思います。

そこで私達に何ができるか考えました。担当看護師が定期的に患者様の様子をご家族に電話連絡し、誕生日にはお楽しみとして厨房からプチケーキが提供されます。またお誕生日カードを作って写真を貼り、患者様にご家族にプレゼントしています。そのカードが非常に好評でご家族には大変喜んでいただいています。タブレットでの面会も短時間ではありますが、笑顔の面会となっています。まだまだコロナも水面下でくすぶり、インフルエンザも流行している状況ですが、患者様が外に出て季節感を味わうことが出来るように、一日も早く日常が戻ることを願っています。



## 古きよき病院…?

医療法人峡南会 峡南病院 看護部長 佐野 睦美

あー、この香り。懐かしいな〜と、ふと昔を思い出した。そうそれはハッカの香り。

あれ?と思いながら聞いてみた。「まだメンタ湿布をしているの? 時代遅れと言われるよ」

当院は高齢で便秘に悩んでいる患者様が多い。頑固な便秘時は1~2泊入院も受けている。「便秘で入院するなんておかしいよ! 外来での指導はどうしているの?」とスタッフへ投げかける。外来看護師たちは何度も話し合い、医師にも相談しながら患者様への指導用パンフレットを作製、拡大した物を待合に掲示した。その効果もあってか便秘での入院は減少していると感じている。

時代により切れない病院ではあるが、なんとなく愛着がわくのも事実であり、どうしてだろうと考えている今日この頃である。



## 目指せ! 最高の看護チーム

身延町早川町組合立飯富病院 看護部長 井上 美保

当院は、今年度から一般病棟に看護補助者を充実させ配置しています。看護補助者とのタスク・シフト/シエアは昨今その強化が叫ばれているところです。特に当院の看護補助者のほとんどが介護福祉士の資格を有して



おり、直接ケアについても安心材料となっています。情報共有の場として、患者一人一人について受け持ち看護師と看護補助者が毎日カンファレンスを持ち、ケアの方法の確認や日常生活動作の向上に向けた計画を立て共有しています。看護補助者と協働する事により「看護の専門性を発揮できる」「介護士の目線からの生活動作に着眼した情報が得られる」などの効果を感じており、患者さんにより良い療養生活を提供するための「看護チーム」を目指しています。

## 医療相談室を立ち上げました

公益財団法人身延山病院 看護部長 中島 榮子

当院では、かねてから医療連携に携わっていた事務職員の社会福祉士の資格取得を機に令和5年7月14日、地域連携・医療相談室を設置しました。業務内容は①退院に向けて福祉サービスや他医療機関との連絡調整などの支援②外来および入院患者の医療・介護・社会保障制度全般の医療相談業務③切れ目のない医療福祉サービスを提供できるよう連携機関との連絡調整・情報交換④訪問看護サービスの事務・業務です。

患者さんが住み慣れた地域で安心して生活するため、入退院支援および在宅療養支援を進めています。

コロナが5類になりましたが、面会禁止等は解禁されており、感染対策をして訪問調査や退院前のケアカンファレンスを開催しています。





# DMAT中部ブロック訓練の様子

峡南医療センター企業団 富士川病院 3階病棟 赤池 有希

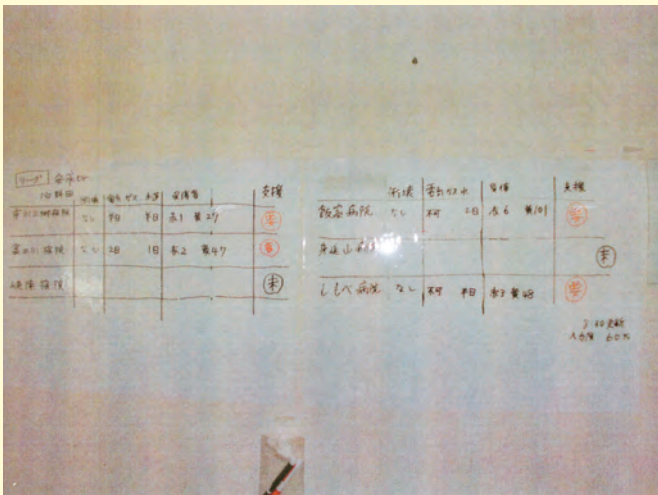
富士川病院にDMAT隊ができて10年となり、4年前の長野豪雨災害では実際に支援活動をしました。また、10月には中部ブロック訓練が山梨で行われ、複合災害（地震・噴火）への対応訓練を実施しました。当院は多数傷病者を受け入れ、他県のDMAT隊の支援を受けながらトリアージや本部としての役割、町や医師会と連携をとりながら活動を行いました。今回の活動をしっかり振り返り、院内や地域全体での今後に繋げていきたいと思えます。



活動拠点本部



トリアージゾーン



峡南地域内病院被災状況



院内災害対策本部

## 編集スタッフ

- 委員長 しもべ病院 加室美佐子
- 副委員長 峡南病院 小林 一美
- 委員 飯富病院 望月 晃
- 身延山病院 天野 美樹
- 富士川病院 市川ひとめ
- 市川三郷病院 丸山 茂美
- 身延町役場 望月 智美

## 編集後記

暗い宵闇の空を彩る大輪の華  
 表紙の写真は、4年振りに開催された市川の神明の花火です。撮影、ご提供くださった方は「10年振りの撮影で気合が入り、とても楽しかった」と仰っていました。暗いコロナ禍以来の優しい時間に心が和お瞬間。看護の現場にも穏やかで明るい日常が戻ることを願い、編集させて頂きました。  
 今回「ぬくもり」の発行にあたり、最後までご覧下さいました皆様と、ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。